

第254回 学会参加報告 mahara Hui UK

- Mahara Hui UK(<https://maharahuiuk.org/>) 来年？
 - Maharaとは？(e-portfolio system) 次はどうなる？
 - Mahara Hui UKとは？
 - 内容:Keynote2＋発表16＋ワークショップ＋ポスター3＋懇親会
 - 感想：実践報告(8割)は基本的に日本と大差なし
 - その他の資金の獲得方法やコミュニティ作りなどが面白かった
 - github:<https://github.com/MaharaProject/mahara>
 - launchpad:<https://launchpad.net/mahara>
 - youtube:<https://www.youtube.com/channel/UCi9FhXKEZjFs1D6FPhg-SCQ>
 - #maharauk15

maharaとは

- GSISもmaharaを使用中
- 2009年にNZで開発開始
- 1.10の次からversion管理が変わり15.10 (年.月)に
- 基本的10月と4月のアップデート
- GPL v3 https://ja.wikipedia.org/wiki/GNU_General_Public_License
- ようはオープンソースです。
- 開発はCatalyst IT 15.10ではほぼ9割



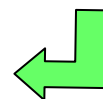
mahara Hui UK

- 世界各地にあるuser grupの一つであるMUG UKが主催
- 例年は7月ぐらいたが開催場所が見つからず今月に
- 参加者は100人弱 イギリス・ドイツ・フランス・NZ・日本



現在とこれから

- 使い勝手が悪いとかよく言われるので
- 15.10からbootstrap対応に(<http://getbootstrap.com/>)
- WebサイトやWebアプリケーションを作成するフリーソフトウェアツール集である。タイポグラフィ、フォーム、ボタン、ナビゲーション、その他構成要素やJavaScript用拡張などがHTML及びCSSベースのデザインテンプレートとして用意されている。
(ja.wikipedia.org/wiki/Bootstrap)
- 見た目が結構変わりました。かなりカッコよくいまっぽく (デモ：<http://demo.mahara.org/>)
- 今後も、現在はユーザインターフェイス等の改善



keynote

- Shining our Mahara boots for a new era
- Kristina Hoepfner (Catalyst IT New Zealand)
- 今までのmaharaの歴史 現在のバージョンの説明←これがメイン 今後の予定
またこうしたらどうかなど
- My personal learning story with Mahara
- Sigi Jakob-Kühn
- 自分の今までの歴史を振り返りながらどのようにポートフォリオを使ったらいいか
- 学生中心か今日中心か
- ポートフォリオは学生中心であるべき、テンプレートなどはなるべく使わずに学生に自由に使わせるべき 卒業しても使えるように またどの大学でも組織でも使えるようにすべきだから エクスポートは重要



実践報告

- 基本的に日本とあまり変わらない
- Maharaユーザコミュニティ
- <http://eport.f-leccs.jp/view/view.php?id=1849>
- <http://mahara.solent.ac.uk/user/view.php?id=1>
- いつまで卒業後使えるようにしとくか
- テンプレートはどのように使用した方がいいか



その他の発表

- どのように資金を獲得したらいいのか
- Catalyst ITも一応企業なので・・・。
- クラウドファンディングを使うてはないのか・・・。kickstarterとか
- 同じ機能が必要な組織が出し合うとか・・・
- MAU UKはどのように誕生したのか
- またどのように運用しているのか
- どのようにユーザーグループを作ればいいのか



懇親会

- <http://seacitymuseum.co.uk/>



mahara hui FR

